

愛猫と一緒に安心！

今から始める、大切な家族を守る備え

獣医師
監修

猫の防災ガイドブック



電子版はこちら



Fesalia

猫のための防災準備とは？



災害はいつ発生するかわかりません。しっかりと備えて、いざという時に大切な家族を守りましょう。

基本的な考え方

- 家族の一員としての猫：猫も家族の一員として、避難計画に含めることが重要です。災害時に猫を安全に避難させるためには、人と同様に猫専用の準備を整える必要があります。
- 準備は「平常時」に行う：災害はいつ発生するかわかりません。余裕のある時に準備を進めておくことで、いざという時に慌てずに対応できます。

防災準備のステップ

1. 防災アイテムの準備

- 当ガイドブック 5P のチェックリストを参考に防災アイテムを準備しましょう。
- 定期的にアイテムをチェックし、フードや水の消費期限を確認して交換しましょう。
- 迷子札やネームシールを準備し、猫が迷子になった際に連絡先がわかるようにします。

2. 避難ルートと避難場所の把握

- 自宅近くでペット同伴可能な避難場所を事前に確認し、緊急時にすぐアクセスできるよう連絡先を保存しておきます。

3. 避難訓練の実施

- 猫をキャリーに入れる練習をし、避難ルートを確認します。猫がキャリーに慣れているかもチェックしておきましょう。



防災において、物だけでなく心の準備もとても大切です。
日頃からの心構えが、いざという時に猫の命を守る鍵となります。

心構え

1. 被災時を具体的に想像する

- 細かな動作確認：一言で「避難する」といっても実際には、「避難バッグを出す・貴重品を揃える・火の始末ができていないか確認する」等、様々な行動が伴います。無事避難完了するまでの行動を細かく確認しておくことが大切です。
- 複数の災害を想定：日本は災害大国と呼ばれ、世界と比べて自然災害が発生しやすい環境です。地震や台風といった原因や、停電・浸水・火災など何が起こるかまで、様々なパターンを想定することで、より具体的に避難計画を考えることができます。

2. 家族全員での情報共有

- 避難計画の共有：家族全員で避難計画を共有し、役割分担を明確にしておきます。誰が猫をキャリーに入れるかなど、具体的な行動を決めておくことで安心です。
- 連絡手段の確認：災害時に連絡が取れなくなる可能性を考え、連絡手段を複数用意しておきます。また、家族内での緊急連絡先や集合場所を事前に確認し合っておきましょう。



災害発生時には、迅速で冷静な対応が求められます。ここでは、具体的な避難方法と注意点を紹介します。

避難の基本ステップ

1. 初動対応 - まずは安全確保

- 安全が最優先：まずは飼い主自身が安全な場所に移動し、落ち着いて状況を把握します。その後、猫の避難準備に取り掛かります。
- 猫を安全な場所へ誘導：猫がパニックにならないよう、優しく声をかけて安心させながら、避難用のキャリーに誘導します。



2. 避難行動 - 猫と一緒に移動

- 安全なルートで避難：あらかじめ決めておいた避難ルートを確認し、安全な経路を選んで避難します。
- キャリーの使用：猫が安全に移動できるよう、キャリーを必ず使用します。

3. 避難所での対応 - 猫と過ごすポイント

- ペット同伴避難所の確認：避難所に到着したら、ペット同伴が可能なエリアを確認し、他の避難者に配慮しながら猫を落ち着かせます。



避難所の注意点

- 猫の管理：避難所では、猫が暴れたりしないように管理しましょう。
- 排泄物の管理：排泄物は適切に処理し、清潔な環境を保ちましょう。
- マナーを守る：避難所でのマナーを守り、他の避難者とのトラブルを避けるように心がけましょう。



災害時には、猫の身体的な健康だけでなく、心のケアも非常に重要です。
災害時に役立つ猫の健康管理と心のケアについて具体的な方法を紹介します。

1. 日頃からの健康管理

- 日頃健康記録：猫の体調や行動の変化を日々観察し、記録しておくことで、災害時に体調不良を早期に察知できます。食欲、排泄、歩き方、目の輝きなど、普段の状態を把握しておきましょう。
- 予防接種と寄生虫対策：災害時に猫が感染症にかかるリスクを減らすため、予防接種やノミ・ダニ予防を定期的に行いましょう。

2. 避難所でのペットケアと心の安定

- 衛生管理：避難所では、多くの人やペットが集まるため、衛生管理が重要です。ウェットティッシュや消臭アイテムを活用し、清潔な環境を保ちましょう。
- 環境の変化への対応：普段とは異なる環境では、猫がストレスを感じやすくなります。飼い主の気持ちが落ち着いていると、猫にも安心感を与えます。飼い主自身がリラックスし、猫に優しく接しましょう。
- 飼い主とのスキンシップ：災害時には、可能であれば猫とのスキンシップを増やし、猫の不安を軽減させることが重要です。普段からのコミュニケーションを大切にし、非常時にも落ち着いて対処できるように心がけましょう。



CHECKLIST

防災アイテムチェックリスト

キャリー

安全に避難でき、両手が自由になるリュック型のものがおすすめです。

キャットフード & 水

4日分のフードを用意しておきましょう。水（軟水）は人間と共用で大丈夫です。

猫のおやつ

ストレス発散や水分補給に役立ちます。複数種類の用意をおすすめします。

トイレ用品（トイレ、猫砂、ビニール袋）

トイレは必需品です。
緊急時に持っていく猫砂は軽い紙タイプを用意しておくとう便利です。

フードボウル

フード用とお水用の2つを用意しましょう。

つめとぎ

猫の心を守る一助になります。小型で嵩張らないものがおすすめです。

ペットシート

避難中のキャリー内に敷くことで汚れ防止やクッション代わりになります。

消臭スプレー & ゴミ袋 & ウェットティッシュ

衛生を守りましょう。避難所での快適さを保つために必要です。

常備薬と予防接種証明書

持病がある場合は常備薬もすぐに持ち出せる必要があります。
避難所ではワクチン接種歴を確認される場合があるので準備しておきましょう。

猫の防災ガイドブック

いざというときの情報がまとまっています。



コンタクトリスト

緊急連絡先

	名前	電話番号	住所
家族			
最寄りの動物病院			

災害時に役立つ連絡先

	名前	電話番号	住所
地元の災害対策本部			
最寄りの避難所			
ペット可の宿泊施設			

災害に備え、愛猫の安全を守るためには、飼い主として日頃からの準備が不可欠です。以下のポイントを押さえて、緊急時にも落ち着いて対応できるよう備えましょう。

1. 防災準備

- 猫用の避難グッズ（キャリー、フード、水、トイレ用品、常備薬など）を揃え、定期的に内容を見直すことが重要です。
- 避難ルートと避難先を確認し、ペット同伴可能な避難所やペットホテルをリストアップしておきましょう。

2. 心構えと避難

- 災害時、飼い主が冷静であることが、愛猫の安全を守る鍵です。避難計画に基づき、落ち着いて行動しましょう。

3. 避難中の健康管理

- 避難先でも、猫の心とカラダの健康管理を心がけましょう。いつもの食事やケア用品を使うことで、猫が安心できる環境を整えます。

4. コンタクトリストの活用

- 獣医やペットホテルの連絡先を確認し、緊急時には迅速に連絡が取れるようにしておきましょう。避難場所の詳細や連絡先も事前に整理しておくことが大切です。

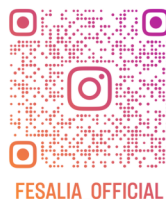
さいごに

災害時は誰もが不安を感じるものですが、しっかりとした準備があれば、愛猫とあなた自身を守ることができます。当ガイドブックがその一助となれば幸いです。

使い方を動画でも
ご案内しております



インスタグラム



公式LINE

